



狭い世界で、広く生きよう。

「単読新書」は、『単読』Mook に続く新しい書籍シリーズであり、単向空間が新しい文化の文脈で行っている立体的な出版実験です。

『単読』は、単向空間のブランド出版物であり、新世代の作家と読者を結びつけています。小説、詩、文化評論、エッセイ、ノンフィクション、アート作品を中心に、静かで深く、エレガントな読書体験を推奨し、明晰で独自性に富み、生き生きとした声に敬意を払います。

単読新書

“New Book”
of
One-way Street

I	ノンフィクション作品	p. 01
II	小説	p. 20
III	批評 / 評論集	p. 34
IV	随筆	p. 42
V	詩	p. 48
VI	戯曲 / 映画・テレビ	p. 52

以下の書籍にご興味がある場合は、下記の連絡先までご連絡ください：

メール：anonymous@owspace.com

WeChat 公式アカウント：単読 (dandureading)

新浪微博：@ 単読

Instagram：one_way_street_journal

会社 URL：<https://www.owspace.com/>

会社住所：北京市朝陽区東坝鎮半截塔路 53 号郎園 Station D3-1 座 単向空間

ノンフィクション作品

○ 項飏 / 吴琦	『自分を方法として：項飏との対話』	(02)
○ 楊瀟	『再び歩く：公路、河川、驛道で西南聯大を探す』	(04)
	『可能な世界』	(06)
○ 宋明蔚	『山より高く：フリークライマーの悲しみと栄光』	(08)
○ 徐泓	『燕東園の近隣』	(10)
○ 許知遠	『梁啓超：亡命、1898—1903』	(12)
○ 王槲	『貧困の質感：王槲のイギリス観察』	(14)
○ 柏琳	『境界の誘惑：ユーゴスラビアを探す』	(16)
○ 呂曉宇	『リマの夢：曉宇のラテンアメリカノート』	(18)
伍祥貴	『死亡日誌』	
薛舒	『父が私を忘れたとき：秘密の別れ』	
	(「生命二部作」その一)	
	『ホスピスでの生活：最後の時間』	
	(「生命二部作」その二)	

- 簡体字版は20万部以上の大ヒット!英語版と韓国語版も出版された!
- 第六回单向街書店文学賞年間作品
- 豆瓣 2020 年間最も注目された図書ランキング第1位
- 中国出版メディア商報 2020 年間ブックリスト



『自分を方法として：項飙との対話』

著者	項飙 / 吴琦	ページ数	320 ページ
出版社	単読・鑄刻文化	定価	48.00 元
出版年	2020 年 7 月	装丁	ソフトカバー
ISBN	9787532176953		

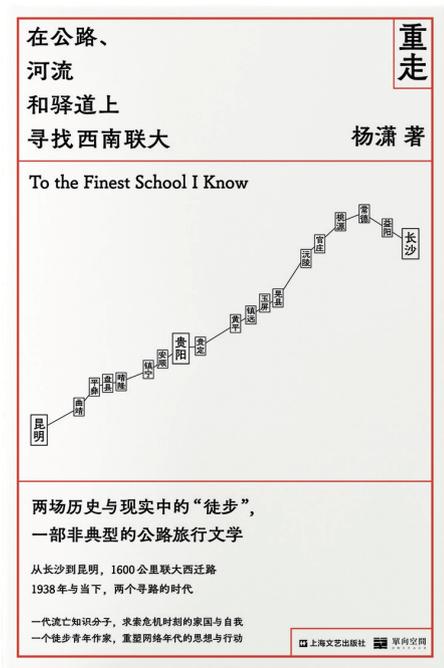
一人の人類学者による段階的な総括。自分の生活をフィールドワークの現場にする。
 一種の美しい対話の形態。「自分の言葉で自分の生活を語る」。
 一冊の私たちの時代に属する対話録。現代の世界に問いかける。

内容紹介 ▶ 二人の学者が北京、オックスフォード、温州、杭州、上海の五都市を跨ぎ、三年をかけてこの対話を完成しました。項飙教授の個人的な経験を出発点に、自我を超越するに関する一連の問題を探求しています。その中には、中国社会の半世紀にわたる変化、知識共同体、グローバル化とポピュリズム、人類学の方法論などに対する考察が含まれています。この本は対話の記録にとどまらず、問題を見つめ直し、思考を鍛えるための方法を示しています——自己が溢れる潮流の中で、自分をどう位置付けるか、グローバル化の時代にどのように周囲の小さな世界を創造するか、思想が行き詰まる社会でどのように大きな命題に答えるか。

著者紹介 ▶ 項飙、1972 年浙江省温州市生まれ、ドイツのマックス・プランク社会人類学研究所所長であり、イギリスのオックスフォード大学社会人類学教授でもある。著書には『境界を越えるコミュニティ：北京「浙江村」の生活史』、『グローバルな「身体狩り」：世界情報産業とインドの技術労働者』などがある。

吴琦、『単読』の編集長であり、ポッドキャスト『ねじを締める』のホストでもある。項飙と対談集『自分を方法として』を共著しており、ジェイムズ・ボールドウィンの作品『山頂へ叫ぶ』と『次は炎』の翻訳も手掛けた。

- 簡体字版は 10 万部以上の大ヒット！
- 单向街書店 2021 年度旅行文学、豆瓣 2021 年度中国文学（ノンフィクション）第 1 位
- 豆瓣書籍年度高評価第 9 位



『再度歩く：公路、河川、驛道で西南聯大を探す』

著者 楊瀟 ページ数 704 ページ
 出版社 単読・鑄刻文化 定価 98.00 元
 出版年 2021 年 5 月 装丁 ソフトカバー
 ISBN 9787532179374

青年作家楊瀟は、徒歩を主にして、40 日間かけて西南聯大の西遷の道を再踏破し、80 年前の若者たちの「旅路」にまつわる物語を再現した。

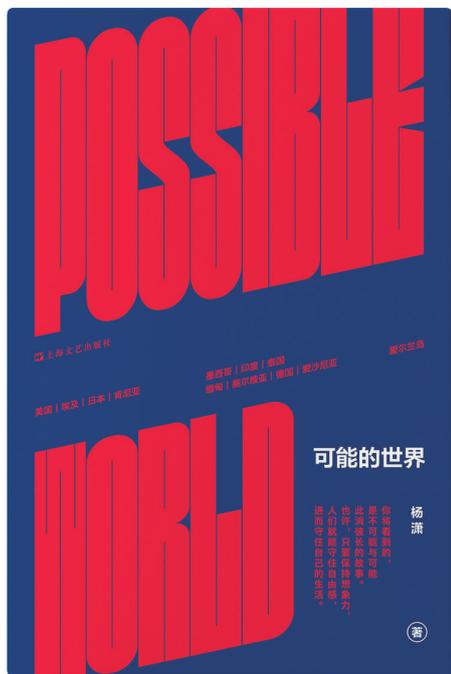
当時の歴史的現場に赴き、国家と個人の危機の中で、同時代の人々や同行者を探し求める。西南聯大の「前日譚」として、伝説の起点に戻り、戦乱の中でどのようにして少しずつ形作られていったのかを見つめる。

内容紹介 ▶ 『再び歩く：公路、河川、驛道で西南聯大を探す』は、青年作家の楊瀟による新作で、単読出版から初めて出版された長編ノンフィクション作品です。困惑を抱えた作家が、西南聯大の西遷の道を徒歩で再踏破する物語を描いています。

1938 年、湘黔滇旅行団が徒歩で三つの省を越えて、西南の内陸を横断しました。2018 年、人生の転機を迎えた青年作家楊瀟が再びこの 1600 キロの道を歩きます。これは非典型的な公路の徒歩旅行で、大型トラックとすれ違うこともあります。道中の山々、川の流れ、鳥のさえずり、人々との会話と歴史の中でかつて同じ道を歩んだ避難者たちの視点が次第に重なり合い、対話して共鳴します。積み重なり、見過ごされてきた「中国」が徐々に浮かび上がります。

著者紹介 ▶ 楊瀟、記者、作家、バックパッカー。2004 年に南開大学中国語学科を卒業し、その後、新華社、南方人物週刊、Esquire (エスクァイア) などで勤務した。2010 年からは世界を旅し、時事、歴史、知識討論、そして人文地理を融合させたナラティブスタイルを試みている。著書には『子弟』、『再び歩く：公路、河川、驛道で西南聯大を探す』、『可能な世界』がある。

- 出版ビジネス週報 2024年5月の価値ある新書ランキングに推薦
- 豆瓣 2024年5月社会纪实書週間人気ランキング第3位



『可能な世界』

著者	楊瀟	ページ数	397 ページ
出版社	単読・鑄刻文化	定価	78.00 元
出版年	2024年5月	装丁	ソフトカバー
ISBN	9787532189922		

2010-2019『再び歩く』の著者楊瀟による10年間の旅路の作品
世界と自分の間で、歴史と現実の可能性を探求する
羅新、劉擎、許知遠が推薦する

内容紹介

▶ 『可能な世界』には、楊瀟が2010年から2019年の十年間にアメリカ、エジプト、ケニア、ミャンマー、ドイツなど10カ国以上を旅し、留学し、短期滞在した足跡を記録しています。これは、世界を抱擁する青年が現地に赴き、可能性を探求する(そして不可能性を認識する)過程を描いた作品です。

2010年から2019年にわたって10年間は、中国人と中国のパスポートが本格的に世界を抱擁する時代でした。振り返ると、これは歴史の特別な恩恵のようであり、避けがたい形で郷愁として扱われることが多いです。著者は、私たちを再び一つ一つの現場に連れ戻し、今日の視点から当時の記録を照らし出し、時事、人文、歴史、地理などの多角的な視点から、変革の時代において私たちがどのように過去と向き合か、歴史の変動と偶然にどのように対処するか、可能性な世界をどのように探求して考察するかを論じています。

著者紹介

▶ 楊瀟、記者、作家、バックパッカー。2004年に南開大学中国語学科を卒業し、その後、新華社、南方人物週刊、Esquire (エスクァイア)などで勤務した。2010年からは世界を旅し、時事、歴史、知識討論、そして人文地理を融合させたナラティブスタイルを試みている。著書には『子弟』、『再び歩く:公路、河川、驛道で西南聯大を探す』、『可能な世界』がある。

- 2024年6月の出版ビジネス週報「価値ある新刊書」ランキングにノミネート
- 豆瓣 2024年7月の社会記録図書週間人気ランキング第3位
- 探照灯の「6月の36部人文社会科学オリジナル優秀作品」にノミネート



『山より高く：
フリークライマーの悲しみと栄光』

著者 宋明蔚 ページ数 692 ページ
 出版社 単読・鑄刻文化 定価 98.00 元
 出版年 2024年6月 装丁 ソフトカバー
 ISBN 9787532190034

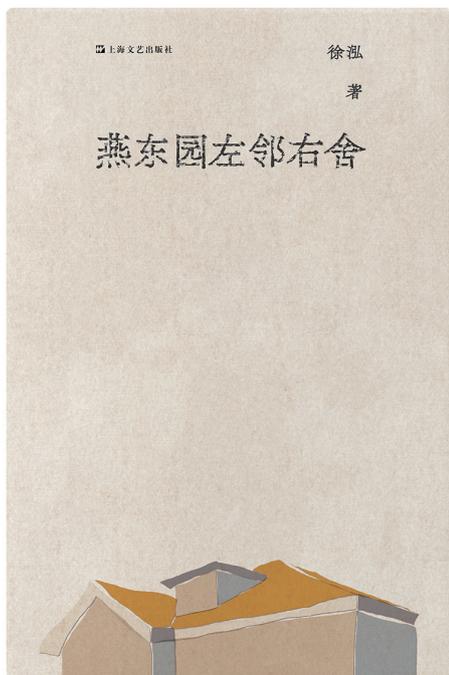
時代の異なる若い登山者たちが、生死を超えて山で織りなす物語。
 各時代の理想主義者たちが、崖の縁で自由と自己を探し求める物語。
 素朴なライフスタイル、競技とは無関係、ただ楽しさを追求する人生の
 選択。

羅新、楊瀟が推薦する

内容紹介 ▶ 本書は、過去20年間にわたって、中国のフリークライマーたちがそれぞれの運命を登山で綴り、生と死を超えて山の上で織りなす物語を描いています。フリークライマーは中国に特有の人々であり、数百人ほどしかいない、しかし中国で最も死亡率の高い運動群体です。遭難者の平均年齢はわずか31歳です。本書の著者は、多くの人物のインタビューや膨大な断片的資料の掘り起こしを通じて、各若者の運命の交差点に立ち、中国のフリークライマーたちの真実の物語を記録しました。彼らの生命の軌跡を通して、その時代を透視し、知られざる登山の叙事詩を綴っています。これは単なる登山者の群像ではなく、異なる時代の理想主義者たちが死の崖で自由と自己を追い求める物語です。彼らは身体をもって、世界に対して、自由の意志を超越するために死のリスクと代償を厭わないことを示しています。

著者紹介 ▶ 宋明蔚、ジャーナリスト、翻訳者、作家。高所登山、トレイルランニング、探検の愛好者。『アウトドア探検』誌の執行編集長を務め、中国アウトドア金犀牛賞の審査員を務めた経験がある。また、国内外の近百件の重大なアウトドアイベントの取材、調査、報道に携わった経験もある。

- 2024年1月 第3回行読図書賞の候補に入選
- 豆瓣 2024年1月 歴史・文化図書週間人気ランキング 第8位
- 世紀読書 2024年度上半期リストにノミネート



『燕東園の近隣』

著者	徐泓	ページ数	528 ページ
出版社	単読・芸文志 eons	定価	98.00 元
出版年	2024年1月	装丁	ソフトカバー
ISBN	9787532188536		

「歴史的な建物」の標識が掛けられた燕東園 22 棟の小楼に語させ、1926 年から 1966 年までの小楼に住んでいた人々とその昔の話を語る。北京大学新聞と伝播学院の教授、徐泓によるノンフィクションの力作で、特集記事の筆法、詳細な史料の収集、数十人の燕東園の二代目とのインタビュー記録を通じて、現場の記憶と埋もれた歴史を救い出すことを目指している。

内容紹介

『燕東園の近隣』は、北京大学新聞と伝播学院の教授である徐泓によるノンフィクションの力作です。歴史的な建物の標識が掲げられた燕東園 22 棟の小さな建物に語させ、1926 年から 1966 年までの住人と過去の出来事を語ります。著者は特集記事の技法で、詳細な史料の収集、数十人の燕東園二代目の住人へのインタビュー録を通じて、現場の記憶や埋もれた歴史を救い出し、その世代の学者たちへの追憶と敬意を表しています。彼らは清末民国初期に生まれ、海外で留学しました。国難の時に毅然と帰国して、科学と文化で祖国に貢献しました。様々な困難を経ても、常に純真な心を持ち続けました。著者の徐泓の父親、徐猷瑜は燕京大学数学科の主任を務めており、彼女は燕京大学燕南園 59 号で生まれ、1946 年の秋に 100 日目に燕東園 40 号に引っ越し、現在も燕東園に住む唯一の古住人です。彼女は各家庭に深く入り込み、感動的な夫婦の情、親子の情、父娘の情、そして隣人との友情や師生の情を記録し、その時代の学者たちの精神世界や書齋での生活を再現しました。

著者紹介

徐泓、北京大学新聞と伝播学院の教授を務めている。1998 年以前は、ニュース業界でシニアジャーナリストとして働き、中国ニュース社のニュース部副主任や北京支社長を歴任した。1998 年以降、中国人民大学新聞学院と北京大学新聞と伝播学院で教職に就いた。著書には『韓家の昔話』『大人物 小人物』『大切にしているもの：30 人の北京大学メディア関係者のインタビュー録』『遠くに行き過ぎて出発の理由を忘れることをしないでください』などがある。

- 文芸報 2023 年度良書ランキングにノミネート
- 豆瓣 2023 年 8 月歴史文化図書週間人気ランキング第 1 位
- 広西師範大学出版社 2023 年度十大良書にノミネート
- 2023 年百道良書ランキング年間トップ・傑出したオリジナル影響力書籍



混乱の中で世界を抱きしめ、制限の中で自己を再構築する。
五年の心血を注ぎ、許知遠が世界に向かう梁啓超を描く。
激変の中で、25 歳で急速に成熟し、30 歳で自らを再発明する。

内容紹介 ▶ 許知遠による「梁啓超五巻本」の第二巻は、世界に向かって進んでいく梁啓超を描いています。1898 年の戊戌変法が失敗した後、梁啓超は日本に亡命を余儀なくされましたが、意外にもグローバリゼーションの時代の波に乗り、広大な世界の舞台で強い生命力を発揮しました。この時期の梁啓超は、日本の横浜を拠点に「清議報」「新民叢報」「新小説」などの雑誌を次々と創刊し、中国語の世界に新しい知識と思想の生み出しと普及を促しました。その影響は大きく、深遠でした。同時に彼はハワイ、オーストラリア、北米などを巡り、海外華人の広範な覚醒した政治意識に応じて、保皇会のグローバルネットワークを構築しました。

本書は大量の詳細な描写を通じて歴史的な場面を再現し、豊かな感情的次元を持つ政治亡命者の像を作り上げています。また、梁啓超を中心に、嚴復などの維新の仲間、孫中山などの革命党人、李鴻章、大隈重信、西オーストラリアのセオドア・ルーズベルトなどの政治家、さらにはバンクーバーの葉恩、シンガポールの邱菽園、シドニーの梅光達など、世界各地にいる海外華人たちが描かれています。彼らの情熱と奮闘が、19 世紀から 20 世紀初頭の世界の風雲を描き出します。

30 歳で立身した梁啓超は、世界の経験を通じて中国の困難を見つめ直しました。彼は康有為から徐々に離れ、知識的な独立を得て、思想的に成熟する重要な時期を迎えました。「維新」から「新民」へ、梁啓超は再び「変革」を推進しました。

著者紹介 ▶ 許知遠、作家、単向空間の創設者、またトーク番組『十三邀』の主創者。北京大学情報学学科を卒業し、ケンブリッジ大学およびカリフォルニア大学バークレー校で客員研究員を務めた経験がある。

2001 年以降、彼は中国本土、香港、台湾で約 20 冊の著書を出版した。主要な著作には『祖国の異邦人』、『放浪集』、『あの悲しむ若者達』などがある。これらの作品は英語、フランス語、韓国語など多くの言語に翻訳されている。現在、彼は五巻から成る梁啓超の伝記を執筆しており、『梁啓超：青年変革者、1873—1898』および『梁啓超：亡命、1898—1903』がすでに出版されている。さらに、許知遠は『経済観察報』、『ブルームバーグビジネスウィーク中国版』、『単読』など、多くの新聞および雑誌の創刊にも関与してきた。彼が主創し、ホストを務める深層の思想に関するインタビュー・ドキュメンタリー『十三邀』は、社会の反響を広く呼び起こした。

『梁啓超：亡命、1898—1903』

著者	許知遠	ページ数	520 ページ
出版社	単読	定価	88.00 元
出版年	2023 年 8 月	装丁	ソフトカバー
ISBN	9787559860378		

- 第8回単向街書店文学賞年間作品
- 刀鋒書店賞 2022年夏リスト・ノンフィクションの「トップ10」
- 豆瓣 2022年度「年間社会・紀実図書」読書リストにノミネート



『貧困の質感：王柳のイギリス観察』

著者	王柳	ページ数	360 ページ
出版社	単読・鑄刻文化	定価	52.00 円
出版年	2022年4月	装丁	ソフトカバー
ISBN	9787532182480		

私たちと貧困との距離——「高額家賃の奴隷」、「働く貧困層」、「慢性的失業者」、「無住宅の高齢者」。

性別差別や社会的不平等の根源を問い、父権主義的家庭と性別不平等の原因を探る。

現場と社会実践の中で、ブレグジットの理由、共通の合意の崩壊、政治的正しさ、世界主義、そして人種差別などの政治的課題に直面する。

内容紹介 ▶ 王柳の初のノンフィクション作品です。彼女はイギリスに12年間生活し、アパートに住み続け、古本屋を回り、庭で野菜を育て、地元の社会クラブに参加し、労働党内部に入り込み、異国の普通の人々にインタビューを行いました。彼女は「イギリス観察」を切り口に、自身の真実の状況と経験から出発し、貧困と制度、家庭と高齢者福祉、農村と都市、EU離脱とEUに留まる、文化と歴史など、さまざまな社会的な現実問題を論じています。彼女の生活は彼女の思想の資源であり、執筆の出発点でもあります。一般的な旅行文学とは異なり、観光客のような観察と記録ではなく、現地に長期間根ざし、「生活の中の人」として、食べ物、衣服、住居、市場、隣人など日常生活の中で触れる人や物を観察し、視野を広げ、家庭、高齢者福祉、医療、制度などの社会的な課題に目を向け、グローバル化がもたらす影響を考察し、グローバル独占資本主義の裏側にある複雑な真実を明らかにしています。長年のメディア経験と執筆訓練により、彼女の語りには独特の視点と強い感受性があります。

著者紹介 ▶ 王柳は作家であり、小説集『サイゴンにふりをする』、映画評論集『映画都市志』、およびいくつかの絵本を出版している。彼女の小説作品は、『天南』や『中華文学選刊』、アメリカの「文字無境界」文学ネット、グッゲンハイム「新編ストーリー」中国現代アート展などに掲載された。フリージャーナリストとしては、『オランダオンライン』『英中タイムズ』、『香港01』、『南方都市报』などにイギリスの時評を執筆した。『単読』に寄稿したノンフィクションシリーズ「イギリス観察」は、2018年の『収穫』ランキングの専門家ランキングで第6位を獲得し、第4回華語青年作家賞にノミネートされた。2021年から英語での執筆を開始し、英国国家作家センター（National Centre for Writing）の「2022才能育成プログラム」（Escalator Talent Development Scheme）のトップ10に入選した。

- 2024年6月中国読書報の月間ベストブックにノミネート
- 豆瓣 2024年3月歴史文化図書週間人気ランキング第4位



『境界の誘惑：ユーゴスラビアを探す』

著者	柏琳	ページ数	428 ページ
出版社	単読・鑄刻文化	定価	68.00 元
出版年	2024年2月	装丁	ソフトカバー
ISBN	9787532171552		

「彼らが社会主義ユーゴスラビアについて語る時、それが自由な時代だったとは言わないでしょう。しかし、彼らはそれが開放的な時代だったと言うでしょう。」

一人の中国の青年が、元ユーゴスラビアの中心部に深入りし、2年の間に6カ国を訪問し、ユーゴスラビアの現状を歩きながら再現する。

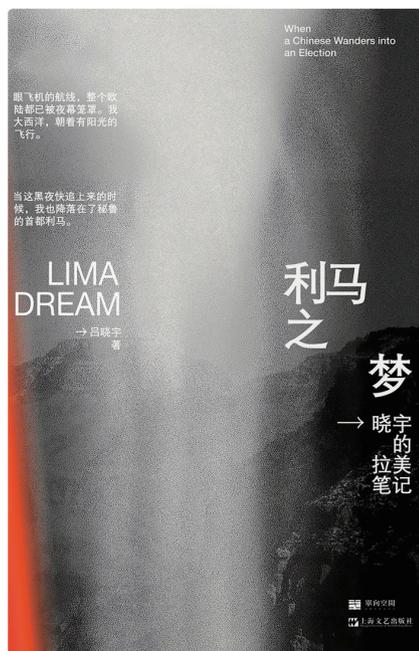
内容紹介 ▶ かつて「ユーゴスラビア」という国がありました。それは世界主義のユートピア実験場であり、今ではその形態は存在しないものの、東欧全体に幽霊のような遺産を残しました。

2018年から2020年初頭にかけて、著者は旧ユーゴスラビアの土地に足を踏み入れ、かつての6つの加盟共和国を訪問しました。現地の人々と出会い、別れ、話し合い、議論を交わし、異なる国や世代からの記憶を通して、旧ユーゴスラビアのさまざまな物語が次第に浮かび上がります。この土地の新世代は、自分たちの歴史をどのように消化するのでしょうか、未来をどのように築くのでしょうか。

これは、前コロナ時代の貴重な記録です。世界が保守的で、閉鎖的で、隔絶的に引き続き向かっていきます。一体に何が人と人、民族と民族との間に境界を作っているのでしょうか？本書を開き、境界を打破し、人と人との真のつながりを再構築します。

著者紹介 ▶ 柏琳、独立ジャーナリスト、青年作家。北京外国語大学バルカン研究センターの非常勤研究員。作品は『単読』や『読書』などに掲載されており、インタビュー集『二重の時間：西洋文学との対話』（2021年）を著している。

- 南方都市报 2021 年度十大良書にノミネート
- ハードコア読書会 2021 年 11 月文学報良書ランキングにノミネート
- 新京報 2021 年度 74 名の学者による人文読書思想マップにノミネート



『リマの夢： 晓宇のラテンアメリカノート』

著者	呂曉宇	ページ数	238 ページ
出版社	単読・鑄刻文化	定価	42.00 元
出版年	2021 年 8 月	装丁	ソフトカバー
ISBN	9787532180295		

志業の危機に直面したある若き学者が書齋を出て、現実の世界に飛び込み、若者たちの困難を問いかける。

マルケス、リョサ、ボラーニョの筆によるラテンアメリカの印象を携えた中国の青年が、その歴史と現在を再び読み解く。

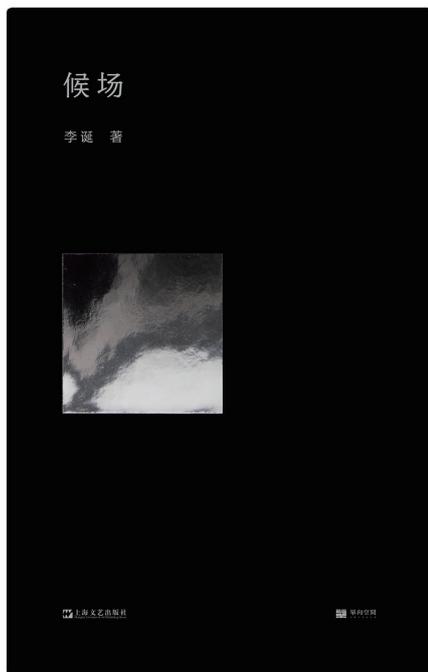
「ハウス・オブ・カード」のような政治的想像を覆し、大統領選挙の裏側に入る。

内容紹介 ▶ 志業の危機に直面している政治学の学生が、学術や生活の困惑に直面しながら、偶然の機会ですペルーに渡り、大統領候補者の選挙チームに参加して「政治をすること」を実践します。この過程で、ペルーやラテンアメリカの歴史の断片が次々と現れ、著者のテキスト知識と現実経験が交錯します。その結果、政治実践、学術的意義、そして現実生活について再考することになります。この本は著者自身の実践記録や旅行記だけでなく、青年が自身と世界、知識と行動の関係について真摯に反省する内容です。「リマの夢」の中に、さらなる思索と行動の可能性が潜んでいます。

著者紹介 ▶ 呂曉宇、1991 年生まれ、湖北省武漢市出身、青年作家、学者。イギリスのオックスフォード大学の博士、オーストラリア国立大学の研究員。国連に勤務し、紛争調整や国際開発に関する業務に従事していた。現在は北京大学国際関係学院の助教授を務めている。長年にわたり評論やノンフィクションの執筆を行い、著書には『リマの夢』『水の下の人々』などがある。彼の文章は『単読』、『小説界』、ロサンゼルス・レビュー・オブ・ブックス中国版、『三聯生活週刊』、澎湃新聞、『ガーディアン』(The Guardian)、『ディプロマット』(The Diplomat) などに掲載されている。

小説

○ 李誕	『待機中』……………	(22)
○ 班宇	『冬の水泳』……………	(24)
	『緩やかな歩み』……………	(26)
○ 慕明	『曲がりくねる環』……………	(28)
○ 林戈声	『乱れる水と火』……………	(30)
○ 蒯楽昊	『痛みの子』 『時間の召使』……………	(32)
宥予	『空を衝く』	
孫一聖	『家族写真』 『夜遊神』	
金特	『冷水ピット』	
陸茵茵	『表演者』	
鄭在歡	『雪春秋』 『駐馬店傷心物語集』	
彭劍斌	『静寂に連なる山脈』 『不検点と倍に絡まる書』	
	『チャンドラービルに舞踏会に行く』	
蘇方	『豪雨が病室に降り注いでいる』	
郭爽	『月球』	
孔亞雷	『李美真』	



李誕の初めての中編小説『待機中』、主人公は「李誕」という名前の人物で、現実を超えた非現実的な物語が展開される。従来の小説とは異なり、文体を超え、次元を打破する新しい小説の試み。虚無を正面から見据え、自己嘲笑に長け、自己嫌悪に熱中し、常に逃げる準備が整っている。現代の若者たちの感覚に深く訴えかける。

内容紹介 ▶ 『待機中』は、李誕が2020年初に完成した中編小説です。この本では、李誕という名前の人物の物語が描かれています。「急速に拡張する大時代の中で、名利の世界に無知のまま踏み入れた若者、迷いながら必死に努力し、短い人生を過ごした成功者、その観察を通じて自身の証言を記録した物語」となっています。

読者はおそらく「李誕」をそのまま李誕と結びつけてしまうかもしれませんが、これは小説であり、ただこうした心のサンプルを観察するための作品です。この時代の精神がエンターテインメントであるならば、この小説はあなたに笑い声が途切れる瞬間を聞かせたいのです。そこには、夢が碎ける音、笑いによって優れた頭脳がどう崩れていったのか、良心や友情、愛がどのようにこの崩れそうな世界を支えているのかが描かれています。

著者紹介 ▶ 李誕、『ツッコミ大会』と『トークショー大会』の総合プロデューサー、総脚本家、詩人、コメディアン、作家。『待機中』の他に、『笑場』『宇宙超度ガイド』『冷場』などの著書がある。

『待機中』

著者	李誕	ページ数	216 ページ
出版社	単読・鑄刻文化	定価	42.00 円
出版年	2020 年 11 月	装丁	ハードカバー
ISBN	9787532178018		

- 第19回百花文学賞短編小説賞
- 新浪良書榜・2018年度十大良書
- 第4回单向街書店文学賞年度作品賞



『冬の水泳』

著者	班宇	ページ数	320 ページ
出版社	単読・鑄刻文化	定価	58.00 元
出版年	2023年7月	装丁	ハードカバー
ISBN	9787532183661		

班宇『冬の水泳』の新装版。七つの北方の物語、七つの越冬の精神。極寒の中で人間としての尊厳を保つ。

純文学を超えた作品。「東北」と「文学」をホットな話題にする。

「人々は水中から顔を仰ぎ、運命の無言の降り注ぎを受け止める。」時間が一人ひとりにどう影響を与えるか、その痕跡を探る。

内容紹介 ▶ 七つの北方の物語、七つの越冬の精神。

極寒の中で人間としての尊厳を保つ。

『冬の水泳』は青年作家班宇のデビュー作であり、代表作でもある。『冬の水泳』には、班宇による七つの小説が収められている。鉄道の線路や工事現場、そして大雪の境界で、かつての人々の姿がさまざま：印刷工場の労働者、クレーン運転手、不慣れなギャンブラー、失業者たち……彼らの生活は受動的で、脅威と困窮に直面し、黙ることを常とし、山のように、あるいは風のように、遠く孤独に存在している。

北方の極寒の中でも、彼らには光と熱が秘められている。ある者は「宙に舞い上がり、裂けた風の中から生まれ出る」ように、ある者は「地面にひざまずき、雷鳴のような号泣を上げる」ように。これらの個々の光と熱はやがて氷を裂き、暗闇を照らし、現代の北方に温もりのある覚書を刻みつけるのです。

著者紹介 ▶ 班宇、1986年生まれ、沈陽出身。小説作品には『収穫』『現代』『十月』などに掲載されている。小説集には『冬の水泳』『逍遥游』『緩やかな歩み』がある。

- 文芸批評の2022年年間文学作品リストにノミネート
- 豆瓣の2023年中国文学（小説部門）に選出
- 鳳凰網読書の2022年年間推薦図書にノミネート
- 中国出版メディア商報「読友読品節 年間十大文学良書」に入選



『冬の水泳』『逍遥游』に続く班宇の第三部小説集『緩やかな歩み』。生活の墮落の瞬間と、運命の流れの中で一步一步前進する私たちを描写している

自己の奥にある真実を探求し、人々の微かな泣き声に耳を傾ける。私たちの中の「大多数」、苦しみながら普通と平凡を維持し続ける生存者。

内容紹介 ▶ 『緩やかな歩み』には班宇が最近執筆した九篇の短編小説が収められています。作者は彼の筆下の人物たちと共に、互いに旅の間として、弱さ、孤独、恐怖、困難を通過しながらも、歩み止めることはありません。彼らは生活を再構築するビジョンを抱きながら、生命の野原や山々を越え、ゆっくりと進んでいきます。「すべてはまだ遅くない、別の夏が訪れるだろう」。

著者紹介 ▶ 班宇、1986年生まれ、沈陽出身。小説作品は『収穫』『現代』『十月』などに掲載されている。小説集には『冬の水泳』『逍遥游』『緩やかな歩み』がある。

『緩やかな歩み』

著者 班宇 ページ数 336 ページ
 出版社 単読・鑄刻文化 定価 58.00 元
 出版年 2022年11月1日 装丁 ハードカバー
 ISBN 9787532183654

- 2022 年度の中国 SF データベース推薦書リストに入選
- 2023 年度豆瓣 SF・ファンタジー読書ランキングに入選
- 2023 年度持微火者女性文学優秀書リスト (華語オリジナル) に入選



『曲がりくねる環』

著者	慕明	ページ数	320 ページ
出版社	単読・鑄刻文化	定価	58.00 元
出版年	2023 年 7 月	装丁	ソフトカバー
ISBN	9787532184422		

青年作家慕明の初の作品

複数の受賞歴があり、豆瓣読書征文大賞、未来 SF マスター賞、銀河賞、グローバル華語 SF 星雲賞などを受賞してきた。

古典とテクノロジー、伝統と幻想が融合し、物語の多彩な可能性を探求している。

内容紹介 ▶ 『曲がりくねる環』は、青年作家の初の作品であり、2017 年から創作された『曲がりくねる環』や『Colora il mondo』（『世界を塗りつぶす』）などの受賞作に加え、2020 年から 2022 年にかけて創作および改稿された『破境』や『夢を創る』などの新作も収められています。科学技術の最前線での経験と学際的な読書趣味が、これらの小説に広い視野と厳密な思考方法をもたらしています。SF や推理などの創作手法から抽出された思索と想像が融合し、物語が形作られています。これらの小説は独立しているだけでなく、詳細にわたる手がかりで繋がりが合い、豊かで永遠の環状時空を織り成しています。遠古から現代生活、さらには極遠未来まで、異なる尺度で書かれた物語が現実の影を映し出し、現実には押し潰されることなく、知識によって現実を再構築し、巧妙さで自由に到達しています。

著者紹介 ▶ 慕明 (本名: 顧从云)、1988 年生まれ、女性。推理小説作家であり、作品はオンライン、雑誌、アンソロジーなどに掲載されている。これまでに豆瓣読書征文大賞、未来 SF マスター賞、銀河賞、グローバル華語 SF 星雲賞などを受賞した。また、イタリア語の短編小説集『Colora il mondo』（『世界を塗りつぶす』）を出版した。

- 2024 年度持微火者春季女性文学良書に入選
- 豆瓣 2024 年 3 月の週間虚構ランキング第 8 位
- 探照灯良書 3 月の中外文学 Y 優作に入選



『乱れる水と火』

著者	林戈声	ページ数	361 ページ
出版社	単読・鑄刻文化	定価	59.00 元
出版年	2024 年 1 月	装丁	ソフトカバー
ISBN	9787532189151		

無界・収穫 APP ブラインドテーマ執筆コンテスト第 1 回最優秀賞受賞作家 林戈声の最新短編小説集
主流文学の視野を超えた作家が、「越境」の物語形式で、言葉にできない苦痛や形容しがたい恐怖を書き上げる

内容紹介 ▶ ジャンル文学から純文学まで、彼女は「越境」の小説を通じて、言葉にできない苦痛や形容しがたい恐怖を描写しています。

巨物恐怖症を患い、アニメフィギュアやミニチュア彫刻に夢中な趙孟鶴、バハマ諸島で豚と恋に落ちた鄭欣愛、17 歳で上京し、共感能力を持つ許長生、そして自殺を約束した少年少女たち――

これは様々な隠れた病を抱えた特異な人々の物語で、作者は病理的な社会と現実の人間性を全体的に観察し、現代都市の異談集と予告録を呈示しています。小説の言語はユーモアに富み、生き生きとしており、境界を打破する文学的想像力に満ちています。正常と非正常、現実と超現実、荒唐無稽と逆論理の間で、人間関係の疎遠を示し、群衆の中の沈黙する少数派の物語を浮かび上がらせます。

著者紹介 ▶ 林戈声、青年作家、1988 年 11 月に中国江蘇省蘇州市で生まれた。ミステリーとサイエンスフィクションをテーマにした長編作品『風雪山神廟』、『十方界 1: 幽霊覚醒』、および『十方界 2: 非人往事』などを出版しており、またミステリーの武俠小説『大唐秘聞録: 衣冠冢』も著作している。2021 年からは純文学の創作に取り組んでおり、その作品は『収穫』、『西湖』、『作家天地』などの雑誌に掲載されている。

全年齢層の女性向けの書籍、すべての女性へのラブレター
女性は漠然とした呼称ではなく、一人一人が具体的な存在である。
女性の身体の変化を再び感じ取り、言葉にしがたい童年の恐怖や恥ずかしい記憶を書き記し、性教育が欠如した現状で女性が受ける傷害や危険を明らかにする



『痛みの子』

著者	蒯楽昊	ページ数	220 ページ
出版社	単読・鑄刻文化	定価	49.00 元
出版年	2024 年 4 月	装丁	ソフトカバー
ISBN	9787532189823		

内容紹介 ▶ 『痛みの子』は、蒯楽昊が『時間の召使』に続いて創作した最新の短編集です。

6つの短編には、年齢や国境の制約がありません。都市に住む人々もいれば、田舎に住む人々もいます。地元の話もあれば、国際的な話もあります。未成年の幼児や自己探求をする少女、心配事の多い女性や老齢の婦人など、さまざまな人物が登場します。現実に存在する女性だけでなく、象徴的な抽象女性も描かれています。

「彼女たちを描かなければならない。娘として、恋人として、妻として、母として、初潮や初体験、出産、衰退といった女性だけの生命の命題を描かなければならない。」

著者紹介 ▶ 蒯楽昊、経験豊富なメディア有識者、『南方人物週刊』の総編集者。経済、時事、社会などの分野での報道を手掛けてきた後、近年では文化芸術分野の取材に力を入れ、心に残る広く伝わる作品を多数執筆している。報道業務の傍ら、幅広い興味を持ち、アマチュアで小説を書いている。2020年には中短編小説集『時間の召使』を出版した。

批評 / 評論集

- 李静 『観客を冒涇しなければならない』 (36)
(「私は生活を恐れている」シリーズ 01)
- 『風を捕まえる記録』 (38)
(「私は生活を恐れている」シリーズ 02)
- 孔亜雷 『楽園生活のガイド』 (40)
- 黄昱宁 『小説のディテール：
ジェーン・オースティンから石黒一雄まで』



内容紹介

▶ 『観客を冒ししなければならない』は、李静が25年間にわたって執筆した文学、演劇、映画、さらには広範な文化現象に関する批評随筆と、自身の戯曲作品である『大先生』『秦国喜劇』などの創作談を収録しています。本書は2014年に出版され、今回の新版ではいくつかの旧作が削除され、1997年から2003年、そして2014年から2022年までに書かれた20余篇の文章が追加され、論域ごとに新たに編纂されました。

著者紹介

▶ 李静、劇作家、文学評論家。著作には、演劇『大先生』『秦国喜劇』、批評随筆集『捕風記』『観客を冒ししなければならない』などがある。現在、北京在住。

『観客を冒ししなければならない』

著者	李静	ページ数	526 ページ
出版社	単読・鑄刻文化	定価	78.00 元
出版年	2024 年 12 月	装丁	ソフトカバー
ISBN	9787532191215		



内容 紹介

▶ 『風を捕まえる記録』は、李静による14人の劇作家、作家、批評家に対する集中論述を収めた書籍です。本書は2011年に出版され、今回の再版では増減があり、取り上げられているのは以下の人物です：チェーホフ、ペーター・ハンドケ、林兆華、過士行、朱西甯、木心、莫言、王小妮、止庵、林白、王安憶、賈平凹、林賢治、郭宏安。

著者 紹介

▶ 李静、劇作家、文学評論家。著作には、演劇『大先生』『秦国喜劇』、批評随筆集『捕風記』『観客を冒洗しななければならない』などがある。現在、北京在住。

『風を捕まえる記録』

著者	李静	ページ数	364 ページ
出版社	単読・鑄刻文化	定価	68.00 元
出版年	2024 年 12 月	装丁	ソフトカバー
ISBN	9787532191208		

小説家・翻訳家の孔亞雷による初の文学エッセイ集。
国際的な視野を持つ文学評論、個人の世界文学マップ。
サスペンスに満ちた評論集、秘密を探し求める探偵小説。
文学は私たちに関係深く、至福の境地への可能性を創造する



『樂園生活のガイド』

著者 孔亞雷 ページ数 334 ページ
出版社 単読・鑄刻文化 定価 59.00 元
出版年 2021 年 12 月 装丁 ソフトカバー
ISBN 9787532182251

内容紹介

▶ これは国際的な視野を持つ文学評論随筆集で、著者が長年にわたって執筆した 20 篇の選りすぐりの文章を収めています。小説家、翻訳家としての独自の文学視野と、ノンフィクションの精緻な筆致を全面的に示しています。一方では、世界各国の著名な作家や新進気鋭の詩人について、詳細かつ独自の長篇評析や推薦がなされており、広く知られている『アリスの冒険』、村上春樹、レイモンド・カーヴァー、ポール・オースター、レナード・コーエンなどが含まれています。また、著者による翻訳で最近注目された詹姆斯・ソーター(長編小説『光年』)、ジェフ・ダール(『しかし、美しい: ジャズの書』)、セサール・アイラ(『音楽の脳』)なども紹介されています。

一方で、これは内なる隠れた関連性を持つ個人史と創作談でもあります。『2666』から『アリスの冒険』、『ストーナー』から『光年』、レナード・コーエンの詩からポール・オースターの冒険、カーヴァーの優しい失敗からジェフ・ダールの極楽への道、ハードボイルド探偵からジャズ、B 級映画から田舎暮らし、読書、翻訳から執筆……濃厚な文体意識と個人的なスタイルが溢れる評論集であり、秘密の地図を添えたプライベートライブラリー、一回の真摯で神秘的、そして美しい対話です。

著者紹介

▶ 孔亞雷、男性、小説家・翻訳家。著作には長編小説『李美真』があり、翻訳書籍にはポール・オースターの長編小説『幻影の書』、レナード・コーエンの詩文集『渴望の書』、ジェフ・ダールの『しかし、美しい: ジャズの書』などがある。

随筆

○ 双雪涛 『白い羊の中の黒い羊』 (44)

○ 李静 『王小波の遺産』 (46)

(「私は生活を恐れている」シリーズ 03)

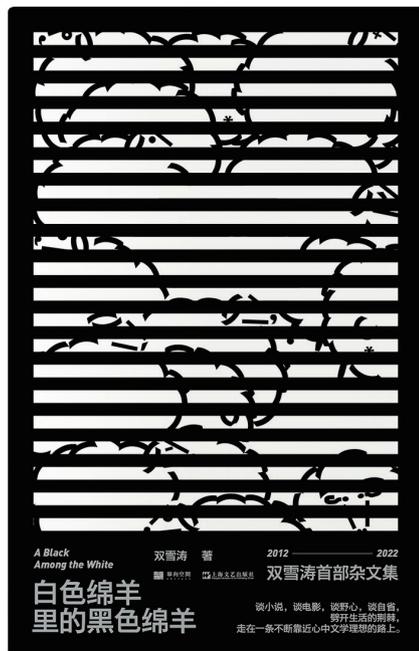
『あなたへ』

(「私は生活を恐れている」シリーズ 04)

阿乙 『徹夜クラブ』

林桂枝 / 杨京京 『同窓：母と娘の共読』

- 発売一年で売上 30000 部以上の大ヒット！
- 春風悦読榜 2022 年 1 月推薦書籍に入選
- 豆瓣 2023 年 1 月文学書籍週間人気ランキングに入選
- 凤凰网読書 2023 年度推薦図書に入選



『白い羊の中の黒い羊』

著者	双雪涛	ページ数	352 ページ
出版社	単読・鑄刻文化	定価	59.00 元
出版年	2023 年 1 月	装丁	ソフトカバー
ISBN	9787532184439		

双雪涛初のエッセイ集、(2012-2022 年) 十年間の執筆歴を記録した作品。文学を信じ、夢を抱き続ける人々へ贈る一冊。小説家の野心と夢、創作の自由と楽しさを共有し、振り返りながら自分を整理する。失ったものと得たもののいずれも、執筆がもたらした最高の贈り物。

内容紹介

『白い羊の中の黒い羊』は双雪涛の初のエッセイ集です。本書は三部構成になっており、第一部「白い羊の中の黒い羊：小説について」では、作家が作家志望者に向けて執筆した九篇の専門的なエッセイが収められています。小説の冒頭や雰囲気から、登場人物の描写、イメージと語彙、結末や修正に至るまで、読書と執筆の実践的な経験が共有されています。第二部「枝道に逸れた生活：映画について」では、成功した映画化の事例を通じて、映画と文学という二つの芸術媒体の理解と、小説テキストと映画化の関係について詳細に述べています。第三部「炎との距離：エッセイ集」では、2012 年に辞職してから自由に執筆を始めた後、10 年間に発表された創作に関連するエッセイや随筆、インタビューが選ばれています。

この本は、小説家双雪涛と読者との誠実な対話の場であり、彼がどのようにして執筆の道を歩み始めたのか、その過程での誤りや曲がり道、失うことと得ることを共有しています。十年間の執筆実践と経験を反省し、創作の夢を抱くすべての人々に招待と呼びかけを行います。

伝統的な専門教育を受けていないが文学の夢を持つ若者が、手にしたペンを頼りに生活の茨を切り開き、一步一步自分の心にある文学の理想に近づいていけることを示しています。混沌とした現実の中で、少なくとも読書と執筆を通じて、自分の内なる微弱な光を守ることができるのです。

著者紹介

双雪涛、1980 年代生まれ、沈阳出身、小説家。第一回華文世界映画小説賞の最優秀賞、第三届单向街・書店文学賞「年度青年作家」、第三届宝珀理想国文学賞の最優秀賞を受賞。著書には短篇小説集『平原上的摩西』『飛行家』、長篇小説『聾啞時代』『天吾手記』『翹鬼』などがある。



内容紹介

『王小波の遺産』は、李静による作家の王小波に関する評論と回想記事をまとめた作品で、1995年から2022年にかけて断続的に執筆されました。最新の「スポンジ記」は2022年4月に書かれ、忘却を防ぐための細かな記憶と断片的な反省が含まれています。中間の各篇は異なる年に執筆されており、王小波に対する理解の変遷が示されています。この一冊は、王小波が中国文学にもたらした解放的な笑いを記念し、彼の文学遺産への感謝を表する作品です。

著者紹介

李静、劇作家、文学評論家。著作には、演劇『大先生』『秦国喜劇』、批評随筆集『捕風記』『観客を冒涇しなければならない』などがある。現在、北京在住。

『王小波の遺産』

著者	李静	ページ数	152 ページ
出版社	単読・鑄刻文化	定価	48.00 元
出版年	2024 年 12 月	装丁	ソフトカバー
ISBN	9787532191192		

○ 快手 / 单読

『一人でも、春のように生きる：快手詩集』 (50)

劉天昭

『なんとそれが本当に』

詩

单 NEW! 读
新 书

本当に普通の人々に属する詩集

現代人の生活の壁を打破し、単一の評価体系や選考基準を超える私たちの身近にいる創作者を発見することを目指している。



『一人でも、春のように生きる： 快手詩集』

著者	快手 / 単読	ページ数	220 ページ
出版社	単読・鑄刻文化	定価	78.00 元
出版年	2023 年 2 月	装丁	ハードカバー
ISBN	9787532186273		

内容紹介

▶ これは私たちの周囲にある詩集で、私たちの身近な普通の人々によって創作された書籍です。本書には 200 篇以上の詩が収められており、これらの詩は快手プラットフォームで一般の創作者から募集された詩集です。農民、建設作業員、配達員、主婦、留守番の高齢者など、多様な背景を持つ詩の作者たちがいます。彼らは異なる故郷、職業、年齢、性別で、日常生活では様々な役割を担っていますが、文学の前では彼らは平等に重要です。これらの自然で、真摯で、時には粗野で装飾のない言葉は、今日でも詩を書いている人々が私たちの中にいることを思い起こさせます。

本書に収められた 200 篇以上の詩は、阿乙、鄧安慶、韓松落、胡桑、買行家、藍藍、梁鴻、項飆、徐晨亮、叶三など 10 人の特別編纂委員がそれぞれの読書感想に基づき、数百篇の初選から選び抜いたものです。彼らの異なる知識背景、読書経験、豊富で多様な文学趣味によって、詩はその多様で生き生きとした本来の姿を取り戻します。時代が前進する潮流で、普通の人々の現実への証言が残されています。

著者紹介

▶ これは、快手傘下の「人間後視鏡」スタジオと「単読」編集部が協力して出版した、一般の人々に捧げられた詩集です。王計兵、蔡遇夏、韓仕梅、陸輝艷、位光明、仲詩文など、67人の詩人による 200 篇以上の詩が収められています。

○ 李静

『戎夷の衣』 (54)

(「私は生活を恐れている」シリーズ 05)

映画

『小説家を

刺殺する』

制作チーム

「『小説家を刺殺する』創作実録」

戯曲 / 映画とテレビ



内容紹介

▶ 『戎夷の衣』は、李静が2021年に完成した戯曲の脚本です。『呂氏春秋』の一つの物語を借りて、ジレンマに人間の本性を問いかけます：光と闇、善と悪、歴史と現在、崇高さと卑劣…

著者紹介

▶ 李静、劇作家、文学評論家。著作には、演劇『大先生』『秦国喜劇』、批評随筆集『捕風記』『観客を冒洗しなければならない』などがある。現在、北京在住。

『戎夷の衣』

著者	李静	ページ数	114 ページ
出版社	単読・鑄刻文化	定価	39.00 元
出版年	2024 年 12 月	装丁	ソフトカバー
ISBN	9787532186273		

单読新書

“New Book”
of
One-way Street